

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	モートン病の装具療法の有用性に関する検討		
1.研究の目的と方法	モートン病は足の趾(ゆび)に向かう神経が足趾の付け根の部分で圧迫を受けることで生じる神経障害で、注射や装具による治療がまず行われます。装具療法はインソールによるものが多いですが、足につけられる装具を常用することがより効果が高いと考え、その有用性を比較検討することが目的です。モートン病と診断された方に、足につけるタイプのインソールあるいは中敷きタイプのインソールを作製します。外来で1か月、3か月、6か月、9か月、1年でアンケートを取りながら、症状の変化を比較します。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	研究機関：■附属病院 ■第三病院 ■葛飾医療センター □柏病院 対象となる方：上記研究機関で2023年1月1日～2025年3月31日の間に診察と検査によりモートン病と診断された16歳以上の患者様		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、身体所見、画像検査結果、アンケート結果	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 整形外科学講座
		氏名	磯谷綾子
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3)試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4)共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定：2024年1月頃		
<b>【問い合わせ先】</b>	【問い合わせ先(対応時間：平日 10:00～17:00)】 東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 研究代表者：磯谷 綾子(いそがい あやこ) 附属病院本院 電話：03-3433-1111 整形外科医局（内線：3441） 窓口担当者：木佐森和樹(きさもり かずき) 附属第三病院 電話：03-3480-1151 整形外科医局（内線：3271） 窓口担当者：山下 紀(やました のり) 葛飾医療センター 電話：03-3603-2111 整形外科医局（内線 5968） 窓口担当者：窪田 誠(くぼた まこと)		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。